

# 青郷小だより

令和5年 2月号  
高浜町立青郷小学校



## 抱きしめる



冬の青空に凜として立つ玄関前の桜が、冬芽をふくらませ始め、暖かい春を待ちわびています。厳しい寒さの中で、子どもたちも日に日に成長しています。

我が家に、2歳の孫がよく遊びに来ます。いろいろなことに興味を持つ時期で、割り箸を袋から取り出してばらまく、炊飯器にぬいぐるみのアンパンマンを入れて炊く、缶ビールを玄関に向けて投げるなど、いつもやりたい放題です。「～だから、やめなさい」と言っても、まだ理解できないので、子育てに関する本を読んでみると、興味深いことが書かれていました。

### 「なぜ子どもは 叱れば叱るほど悪さをするか」

子どもの行動に、親が激しく反応し、いつもとは違う表情や言動をすると、子どもの脳内でドーパミンという幸福感を感じるホルモンが分泌され、その作用で叱られる前の行動に意識が強く向き、また同じことをしたくなる。

### 「子どもは自分で学ぶ 失敗をたくさんさせよう」

「寝返り」「お座り」「つかまり立ち」そして「歩く」だれも方法を教えていないのに、いつの間にかできるようになる。見て、まねて、自分で練習をして、やがてできるようになっていく。それをよく、じゃましてしまうのが親。ティッシュを指でつまみ、引っ張る練習をしていたのに…障子に指をさしたら、穴があくことを発見し、何度も確かめていたのに…「何してんの、やめて!」と止められる。

### 「子どもを抱きしめよう」「抱っこを求められたら100%応えてほしい」

親に抱きしめられると、子どもの脳内でオキシトシンという幸せを感じるホルモンが分泌され、つらかった気持ちや痛みが消えていきやがて落ち着いていく。何かあったら親が抱きしめてくれるから大丈夫と、「心の安全基地」ができる。

学校でも、「前にも同じことを注意したのに、なぜまた同じことをするのか」という場面がよくあります。また、活動や学習の際に、子どもたちに失敗をさせないために、過保護にいろいろな手立てを用意することがあります。

学校では今後も「してはいけません」ということより、「なぜ、してしまったのか、一緒に考えよう」という姿勢を大切に、子どもたちに寄り添いながら、支援をしていきたいと思えます。

また、時には失敗をさせ、そこから自分で学ぶような機会を大切にしていこうと思えます。  
(裏面に続きます)

さすがに学校で「抱っこ」はできないので、ぜひ、ご家庭でお子様を「抱きしめて」ください。

我が家でも、テーブルの上に乗って遊ぶ孫を、笑顔で見守り、体じゅうご飯粒まみれで手を広げてきたときでも、しっかりと抱きしめたいと思います。

## 95名 元気です！

先月下旬には、10年に1度と言われる強烈な寒波に見舞われ、校舎もグラウンドも真っ白に染められました。最低気温が連日零下を記録するなど、大変寒い日が続きましたが、子どもたちにとって久しぶりの雪は大きなプレゼントになったようで、全員寒さに負けず、元気に学校生活を送っています。



## 今後の行事等予定

今後の行事等を下記のように予定しています。なお新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染状況により、実施方法や内容を変更する場合があります。ご了承ください。

2月	3日	(金)	高浜中学校体験入学(6年生)
2月	7日	(火)	新入生体験入学(来年度新入生)
2月	18日	(土)	学習発表会・なわとび集会
2月	20日	(月)	振替
3月	4日	(土)	親子環境美化活動(育友会)
3月	8日	(水)	6年生を送る会
3月	17日	(金)	卒業証書授与式
3月	24日	(金)	修了式

※ 子ども達の学校生活の様子をブログでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



< <http://seikyo.takahama-town.com/> >

学校ブログ <QRコード>